

【資料2】

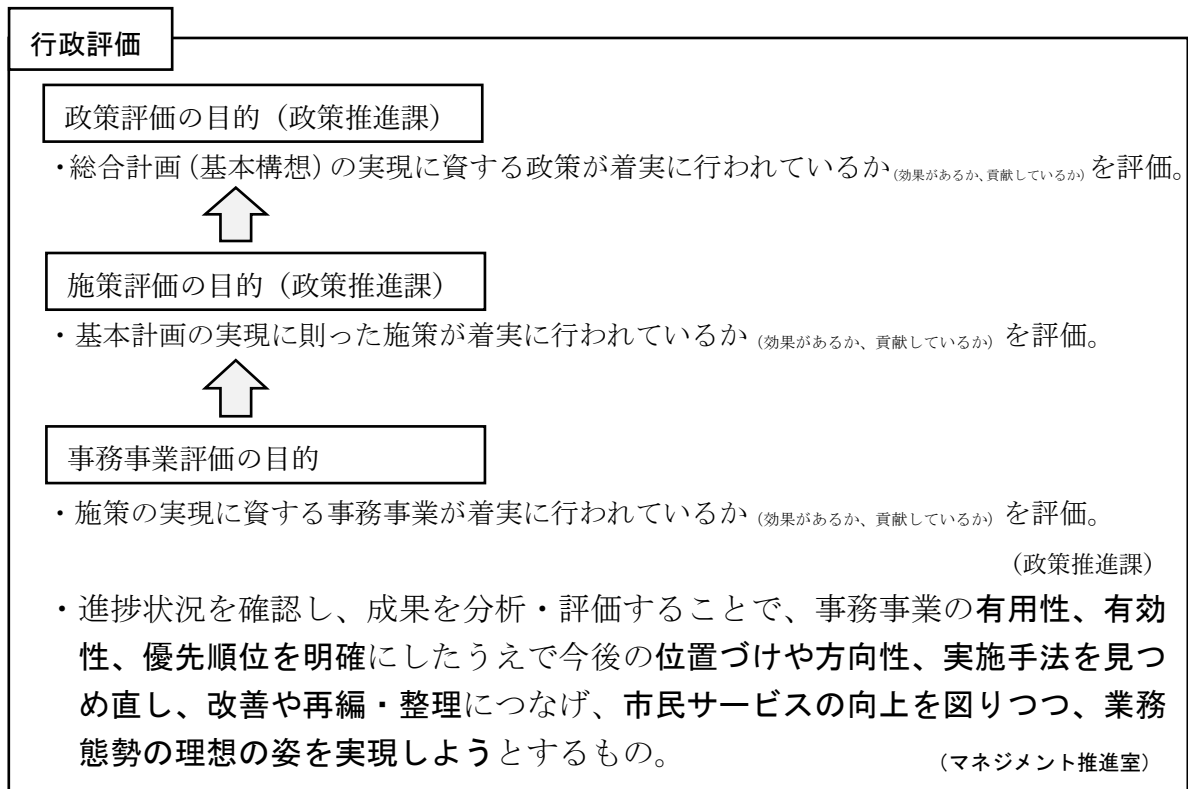
行政改革推進委員会資料
令和5年(2023年)5月17日

事務事業の見直しについて

1. 事務事業を見直すことで目指す甲賀市の業務態勢の姿

- 現在の姿 「多様化・複雑化する課題対応と疲弊」
- 理想の姿 「人でなければ、行政でなければ、市職員でなければできない分野への注力」

2. 評価の仕組みと目的



(参考) 第2次甲賀市総合計画期間

	H29	H30	H31	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10
総合計画基本構想 (政策)	← 計画期間12年 →											
基本計画 (施策)	第1期			第2期			第3期					
実施計画 (事務事業)	第1期			第2期			第3期					

(参考) 本市の事務事業 1,120 小事業

種別	事務事業数
①実施計画掲載事業(やると決めた)	160
②法定受託事務等(やらなければならない)	350
③その他の事業	610
計	1, 120

4. 令和5年度 of 取組み

- 現行の評価シートをもとに担当部署と、“事務事業のリニューアル（自動化や民間力活用など）の可能性の有無”について協議を実施。
（視点）・評価が「A（実績値が成果指標を満たしている状態）」であるもの、「事業の方向性」や「投資資源の方向性」が『現状維持』とされているものであっても、より効率的で、効果的な手法はないか。
- 協議の結果、該当の事務事業がある場合は、必要に応じて担当部局と見直し推進部局が協働し、確実な成果の実現に取り組む。

5. 令和7年度以降の事務事業評価制度の構築

【現行制度の課題】

《認識の課題》

1. 事務事業評価の実施目的(理由)の職員間での共有不足。

《評価基準の課題》

2. 目標設定・評価の基準や認識等が統一されていない。
定性評価の設定ができない。

3. 事務・事業ともに人工(職員数/時間)が把握できていない。

《評価シート様式の課題》

4. 小事業ごとに独立したエクセルシートのため作成に手間がかかる。作成がシステム化されていないため、シート作成・評価事務が過重になっている。

5. 小事業ごとに独立したエクセルシートのため全体が見えにくい。

6. 事務・事業のリニューアル(自動化、民営化など)が想起できる様式になっていない。

【今後のスケジュール】

○令和7年度当初予算編成までに事務事業評価制度を再構築する。

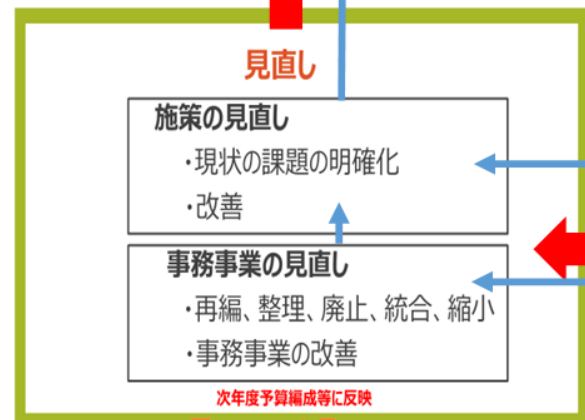
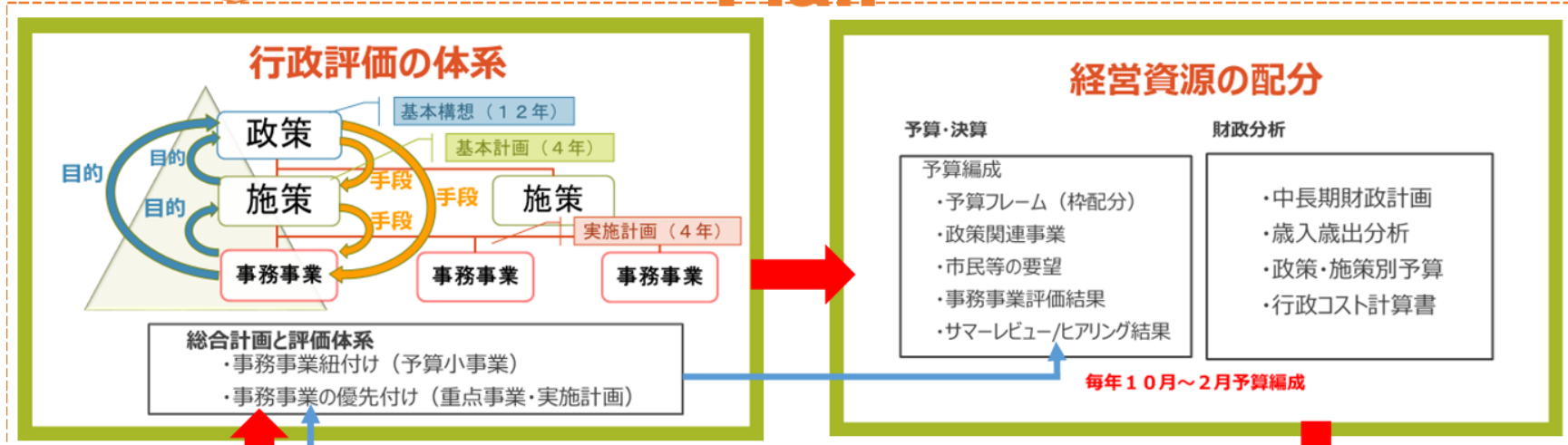
(趣旨) 事務事業評価の要領や評価シートの様式について、本委員会のご意見、他自治体の制度を参考にしながら、上記の課題等を極力解消し、かつできる限り職員の負担が軽減できる手法を考案する。

トップマネジメント

行政評価システムの全体イメージ図

施策方針

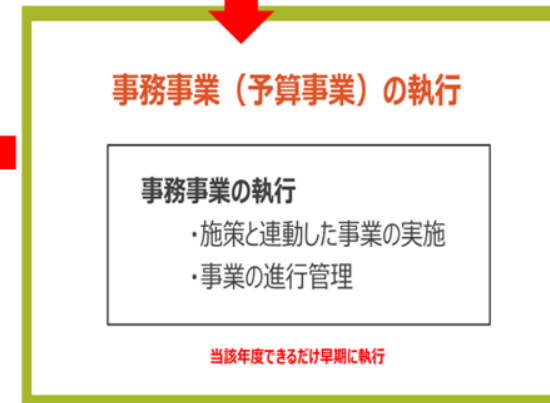
Plan



Action



Check



Do